

# 果樹の台風事前事後対策

## 1. りんご

### (1) 防風施設の設置、見直し

防風ネットを配置している園地では、ネットの張りを点検し、緩んでいるワイヤーは張り直し、破れたネットは、張り替えるなど十分に効果の現れるよう準備する。

樹列に対し直角方向にワイヤーなどを張り巡らし、簡易なトレリスとすることで倒伏を軽減することができる。

(ただし、一部の倒壊に全体が引っ張られることがあるので注意。)



### (2) 収穫

強風による落果被害が心配される場合は、収穫可能な果実は事前に収穫を完了する。

落ちる果実の傷を軽減するための敷わらも有効である。

### (3) 支柱入れや紐による補強

長雨で地盤がゆるんでいると、根域の狭いわい性樹は倒れやすい。長大な側枝を持つ樹形であれば、一層、バランスを壊しやすいので、丈夫な支柱で支え、はずれぬよう紐で縛り固定する。



**(4) 高接ぎや幼木補強**

高接ぎでは大切な更新を保護するよう添え木し、幼木も丈夫な支柱を立てる。

**(5) 園内排水の確保**

降雨による表面水を、あらかじめ溝を切るなど、速やかに排水できるよう対処する。



**2. ぶどう**

**(1) 防風施設の設置、見直し（りんごの項に同じ）**

**(2) 棚倒壊の予防**

収穫直前で最大の荷重がかかっている状態なので、収穫を急ぐとともに、棚が倒壊しないよう、棚内部の架線に補助支柱を配し、周囲柱、隅柱の補強をする。

**(3) 園内排水の確保**

降雨による裂果の発生を軽減するため、明渠（きょ）や溝を切るなど速やかに排水できるよう対処する。